

第84号

✻ 学校教育情報・堺

平成19年4月11日

【企画・編集 学校教育部】

チーム力がすべて！「見える・見せる」の実行を！

平成19年4月6日（金）に堺市教育文化センター（ソフィア・堺）で本年度第1回全市校
園長会が開催されました。堺市教育委員会 阪之上 清以彌委員長の挨拶があり、その中で、
教育の再点検、危機管理意識の徹底、公教育に対する期待と信頼に応えるため「堺市教育活性
化プラン」の実行が必要なこと等についてお話されました。

また、芝村教育長からは、「教育活性化プラン」の具現化と平成19年度堺市教育重点目標
である「**期待と信頼に応える公教育の実現**」に向けて5つの視点を示し、コンプライアンスを徹
底し学校園のチーム力を生かすとともに、創意工夫を生かした取組の推進について指示があり
ました。5つの視点の概要は以下のとおりです。各学校園においても、これらの視点を具現化
し、より一層学校経営の活性化を推進してください。

期待と信頼に応える

公教育の実現

1. コンプライアンスの徹底

※コンプライアンス＝倫理・法令遵守

昨年度 「学校の信頼」が崩れた事例
少人数指導加配教員の不適切活用
期限切れ給食牛乳の調理実習への使用

倫理・法令遵守体制の構築

「こんなんしていいんですか」
外部からではなく **内部からの指摘**が大切
内部からの指摘があるのが健全な組織

2. チーム力の向上

共同体から機能体（目的をもった組織）へ
優れた取組・学級経営は **学校園全体で！**

学校園の教育目標、重点課題、教育計画の共有
保護者・地域への情報提供

「見える学校」「見せる学校」

積極的な公開

ホームページの活用

・学校としての「学力向上プラン」を

“よい先生”にとどまらず“よい学校園”へ

チームとして、学校園として、継続的に！

学校園としての先進的な取組を！

課題に対する先進的な取組には予算面でも応
援したい。

3. “地域協働型”の教育 ・ 「学校園に外部のかぜを」

「子どもの安全見まもり隊」は地域の協力を得て推進している
今後は、**教育活動への参画を！**

先進的な例 「学校支援本部（地域本部） 学校を支援する体制の構築」
（杉並区立和田中学校 藤原 和博校長）

「一日参観」「オープンスクール」の実施とアンケート等の活用

協働の前提として教育活動を**公開**していくことが必要・・・外部の**評価**

地域とともに、子どもの育ちを一貫して支える小中連携の取組

「横割りの教育 さようなら」・・・すべての中学校区で小中連携、小中一貫を
「放課後子どもプラン」の活用など社会教育との連動

4. どの子ども、どの先生も

生きる学校

どの子ども

子どもと接する時間
子どもとともに活動する先生
どの子ども楽しいとは限らない場合も
つらい気持ちの子はいないか
授業、修学旅行、体育大会など
子どもの気持ちを感じ取れる感性を！

どの先生も

評価・育成システムを効果的に活用し
教員と管理職の信頼関係を

「学校園における重点課題」の一つ

- ・校務の精選
- ・労働安全衛生体制の設置



芝村教育長

5. 学校改善、学校改革の

チャンスは毎日

年度末や年度初めだけが改善・改革のチャンスではない。チャンスは毎日である。

子ども、保護者、教職員、地域の方々との気持ちのやりとり、対話を大切にして、「期待と信頼に応える公教育」を実現したい。

教育委員会も、「協働」「公開」と「評価」をキーワードに学校園とともに進んでいきたい。